

特殊詐欺を防ごう

特殊詐欺被害状況

令和5年の市内における特殊詐欺被害状況は、14件と対前年比1件減でしたが、被害金額は2915万円で前年より697万円増加しています。

詐欺グループは、それらしいストーリーを作り上げ、あらゆる人になりすまして電話をかけてきます。日ごろから警戒していないと、巧妙に不安をあおられてしまい、つい話を信じてしまいがちです。相手が誰であっても、電話でお金やキャッシュカードの話が出たら詐欺を疑い、絶対に相手に渡さないようにしましょう。

また、ATMに行くよう指示されたら詐欺を疑ってください。一人で判断せず、家族や知人、警察、市役所に相談しましょう。

被害を防ぐために

オレオレ詐欺

親族を装い、「カバンを置き忘れた、小切手が入っていた、お金が必要だ」などと言って、金銭などをだまし取るものです。

対策▶一度電話を切って、自分からこどもや孫にかけ直して確認するようにしましょう。家族など身近な人に相談しましょう。



還付金詐欺

自治体職員などを装い、医療費、保険料、税金などについて「還付金があるので手続きしてください」などと言って、被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させるものです。

対策▶市や税務署の職員がATM操作をお願いすることは絶対にありません。一度電話を切って、市や税務署などに受けた電話の内容を確認しましょう。



架空料金請求詐欺

通信事業者、サイト事業者などを装い、メールなどで「有料サイトの利用料金が未納です」などと送信して金銭などをだまし取るほか、パソコンでインターネットを閲覧中に、突然ウイルス感染したかのような偽の警告画面を表示させ、問題を解決するためのサポート名目で金銭などをだまし取るものです。

対策▶ハガキなどが届いても、絶対に電話をかけず、警察に相談してください。



特殊詐欺被害の9割は、犯人からの「電話」に出たことがきっかけです。以下の対策を行いましょう！

- ①在宅時でも留守番電話に設定：犯人は自分の声が証拠として残ることを避けるため、何も話さずに電話を切ります。在宅中も自宅の電話を留守番電話に設定し、相手を確認してから電話に出ることで、犯人からの電話に出ることなく被害を防ぐことができます。
- ②ナンバーディスプレイの活用：知っている番号に安心して出られます。非通知の番号や知らない番号には出ないようにしましょう。
- ③防犯機能付き電話などの対策機器の設置：自動通話録音機能や着信前に警告メッセージを流す機能を持った電話機や、後から電話機に取り付けられる装置などがあります。

犯罪を許さないまちづくり

犯罪は、私たち一人ひとりの心掛けや対策によって、被害を防ぐことができるものも多くあります。防犯意識が、自分や家族を守るだけでなく、犯罪に強い地域をつくることに繋がっていきます。犯罪を決して許さず、地域の団結を強め、地域ぐるみの積極的な防犯活動にご協力をお願いします。

犯罪のないまちを目指して

問合せ 生活環境課交通安全・防犯担当

犯罪は、常に私たちのすぐそばに潜んでいます。埼玉県内では9月と10月に住宅強盗事件が連続して発生しました。近年、住人の在宅の有無にかかわらず複数人で窓などを破壊して住宅に押し入る、宅配業者や点検業者を装うなどの方法で住宅に押し入り、現金や貴金属類を奪い取るなどといった侵入犯罪の手口が、巧妙かつ凶悪化していることから、これまでの防犯対策をより一層強化していくことが大切です。



地域防犯推進委員による
青色防犯パトロール

侵入窃盗は無施錠の窓や玄関からの侵入がトップ

侵入窃盗の侵入口としては、「窓」と「表出入口」からの侵入が全体の7割以上を占めています。また、空き巣を始めとした侵入窃盗の多くは、鍵のかかっていない箇所から侵入しています。「少しの間だから大丈夫」と玄関の鍵を掛けずにゴミ出しに行ったり、洗濯物を干したりすることがないように、日ごろから少しの外出でも必ず施錠する習慣を身につけましょう。

無施錠の次に多いのが「ガラス破り」による被害です。家を不在にする際には、雨戸などを閉める、窓に補助錠を取り付ける、窓ガラスの全面に防犯フィルムを貼るといった対策も有効です。

4階建て以上の共同住宅になると「合い鍵」による侵入も多くなります。合い鍵を玄関の周囲や郵便受けなどに隠したつもりでいても侵入者は見抜いています。合い鍵を家の外には絶対に置かないようにしましょう。

防犯対策と防犯行動

注目!

- ①在宅時でも出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける習慣をつける
- ②訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前に、まずドアスコープやインターホン越しに確認する
※ 宅配業者の訪問を偽装した手口には、荷物の受け取りに宅配ボックスを活用するなど、宅配の荷物を直接受け取らない方法をとることが大切です
- ③外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認する
- ④日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておく
- ⑤玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる
- ⑥旅行など長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合ったり、郵便物・新聞などの配達を止めるなどの対応も必要
- ⑦合い鍵の不正作製を防止するため、鍵を家族以外の人には「見せない」「渡さない」、写真や動画で「写さない」
- ⑧自宅に必要な以上の現金を置かない。電話などで在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれてもこたえない
- ⑨少しでも不審だと思ったら、ためらうことなく110番通報する

